

所信表明について

皆様ご存じのとおり、去る4月23日に執行されました町長選挙において当選をさせていただき、これからの4年、町政を担わせていただくことになりました。町民にとって安心・安全な暮らしを支えるために全力を尽くす決意でございます。

ここ数年を振り返りますに、特に、新型コロナウイルスによるパンデミック危機においては、これまで当たり前であった日常生活が、いわゆる行動制限により人が自由に行きかうことままならないなど、誰もが常に生命の危険にさらされ、精神的に追い込まれるなど厳しい状況にありました。未だ、個人レベルで警戒は続けております。

また、地球温暖化による気候変動危機による、未曾有の自然災害にさらされ、過去の常識を超えた想定外の被害が繰り返されるなど、地球規模の根源的危機を感じざるを得ない状況にあります。

数百年に一度のコロナ禍や未曾有の異常気象を世界中の全人類が同時に経験することで、だれもが、これまでの産業革命以来、人類が享受してきた近代文明の在り方そのものが問われていると気付いてきているのではないのでしょうか。

ことさら大げさにいうわけではなく、今こそ、すべての人々がこれまでの生き方や暮らし方を真剣に考え直すべき、人類変革の世紀を迎えていると考えております。

今回の町長選においては、町民と対話する機会を得ました。町民の中には、このままで良いと言う人は少なかったと実感しております。

町村合併で大崎上島町が誕生して早20年の節目を迎えました。

合併当時、一万人を切ったと騒がれていた人口は、この町長選挙前には七千人を切ってしまいました。この20年で約三千人の人口減です。

さらに、人口のほぼ過半数は65歳以上の高齢者が占めており、私自身も55歳にしてこの島にUターンして早10年、この年末には高齢者の仲間入りをします。

待ったなしです。この島は他地域に先駆けて少子高齢化が進み、大変厳しい状況にあると、すべての町民が危機感という共通認識を持つことが大切です。

具体的には

- ・後期高齢者の割合が高まる中、一人暮らしを余儀なくされた方に十分な介護・生活支援が行き届いてないこと
 - ・入院施設がなくなるなど、医療体制が弱体化しつつあること
 - ・家庭の後継ぎが不在で、空き家が激増し、集落維持そのものが困難となる地域が生じていること
 - ・あらゆる分野が後継者不足となり、農業の耕作放棄地が増えるとともに、事業所や店舗等も減少し、地域活力が減退しつつあること
 - ・子どもを産み育てる環境と子どもの成長に見合った教育・文化環境が不足していること
 - ・希望に沿った仕事が見つからず、若者が島に残らないこと
- など、多くの課題を抱えています。

全国見渡しても、この離島・過疎地域における課題を解消するための特効薬は見つかっていません。

それぞれの地域に見合った処方箋を導き出すには、自分が住んでいる地域に対する危機意識をだれもが胸に刻み、町行政とすべての町民が力を合わせ、根気よく一つ一つ答えを求め続ける地道な取り組みが求められています。

このため選挙公約にて五つの誓いを立てました。

- 一つ 子どもは島の宝、家庭に希望を
- 二つ 若者は島の光、仕事に夢を
- 三つ 女性は島の泉、元気を表舞台へ
- 四つ ご年配は島の誇り、最期まで生きる安心を
- 五つ 産業は島の財（たから）、地域に豊かさを

現在の大崎上島町長期総合計画は残すことあと二年という更新時期にあります。今年度には、計画期間中の実績を検証し、2年がかりで長期総合計画を策定すること待ったなしです。

この先10年を考えるに当たり、新たな地球規模の視点を見定めるには、これから一世代先の子や孫世代のことも想定しなければなりません。

このため、数十年先に向けた島の羅針盤となる『新しい大崎上島未来ビジョン』の構想も明確にするなど、新たな課題解決の仕組づくりも考えてまいります。

その前提としては、まず、何よりも町行政とすべての町民がさらな

る信頼の絆で結ばれる住民対話と情報公開の徹底が必要となります。

そのうえで、島にあるものを最大限に生かし、これまでないものに練り上げていきたいと考えています。

さらに、地球規模や長期的かつ専門的検討には、島外の国、県、関係市町に加え、産官学民の連携協力を求めてまいります。

具体的手順としましては、

- ・島の厳しい現状を正しく認識するため、DX技術を活用して調査・分析をデータ化し町民に情報公開します。
- ・次に、守る（残す）もの、変える（イノベーション）もの、後世に託すものに区分し、町民と協議しながら優先順位をつけます。
- ・足りないものは、出身者や島に共感し縁ある人などを島外から人財誘致するとともに、離島として国の交付金制度を最大限活用します。

そして、その将来目標は「子、孫世代が誇りをもって住み続けてくれる持続可能な地域社会」を目指していきたいと考えております。

この考えは、選挙に当たって町民の皆様に提案したものをベースにしております。

今後は、議会の皆さまともしっかり意見交換しながら行政を推進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

令和5年6月6日

大崎上島町長 谷川 正芳